

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

4- -14

4-
-14

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	外国人観光客の受入環境整備
	節	.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	14 トイレの洋式化		事業主体	佐渡市観光振興課
			関連団体	佐渡市建設課、(株)ゴールデン佐渡
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】 トイレの洋式化により外国人観光客の受入環境整備を図る。			
	【事業内容】 市内全域において主要な既設公衆トイレの洋式化整備について、計画的に実施する。 (改修既設公衆トイレ数: 8器) 民間施設のトイレについて洋式化を推進する。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 3年計画で進めてきた13箇所の洋式化整備のうち、計画最終年となる今年度は最後の5箇所を整備する。 (版画村、長手岬、トキの森、蓮華峰、城が浜公衆トイレ)			
	【29年度実績】 1月以降の冬季利用者減少期間中に改修し、城が浜公衆トイレ以外は29年度中に完了した。 佐渡地域振興局地域整備部で両津みなと公園、みなと第2公園の2か所で洋式化を実施した。			
課題・今後の取組	【課題】 設備を改修しても施設自体が老朽化しているところもあり、施設自体の見直しも必要である。			
	【今後の取組】 今後、老朽化した施設自体の見直しを進めるとともに、平成30年度も引き続き港湾区域内の公衆トイレの洋式化を進める。			
事業評価	【事業の達成度】 (a (b) · c)			
	【事業実施の効果】 (a (b) · c) 当初計画どおり、3年計画で13箇所の公共施設におけるトイレ洋式化を計画し、ほぼ実施できたことからBとした。			
	【総合評価】 (A (B) · C)			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。